

平成 24 年度 VBL の研究業績

学会発表・国際会議報告等

- 1) 藤井永人, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久 : Y の含有層を変えた Ni アルミナイド表面層の作製と耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2012 年春期 (150 回), 横浜, 2012 年 3 月 28 日~30 日 (講演概要集 p. 309)
- 2) 阿部拓平, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久 : TiAl への Ni アルミナイド/TiAl₃ コーティングと耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2012 年春期 (150 回), 横浜, 2012 年 3 月 28 日~30 日 (講演概要集 p. 310)
- 3) 佐藤菜花, 藤 雅彦, 茨木 啓, 福本倫久, 原 基 : Nb-W 合金上への Ni アルミナイド/Ni₂ 層コーティングとその耐酸化性, 日本金属学会 2012 年秋期 (151 回), 松山, 2012 年 9 月 17 日~19 日 (講演概要集 p. 556)
- 4) 福本倫久, 力石 健, 原 基 : Hf を固溶させた Ni アルミナイド層の作製と耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2012 年秋期 (151 回), 松山, 2012 年 9 月 17 日~19 日 (講演概要集 p. 557)
- 5) 富樫亜希, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久 : アルミナイド/Ni-Hf 合金 2 層コーティングの作製と耐サイク酸化性, 日本金属学会 2012 年秋期 (151 回), 松山, 2012 年 9 月 17 日~19 日 (講演概要集 p. 558)
- 6) 宮田知隼, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : 熔融塩電析法による Ir-Pt-Al 合金コーティングと耐酸化性, 第 11 回日本金属学会東北支部研究発表会, 仙台, 2012 年 12 月 13 日 (講演予稿集 p. 21)
- 7) 溝口賢一, 佐藤菜花, 原 基 : 熔融塩電析法による CeNi₅膜の作製と水素チャージ後のアノード特性, 第 11 回日本金属学会東北支部研究発表会, 仙台, 2012 年 12 月 13 日 (講演予稿集 p. 22)
- 8) 藤井永人, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久 : Y の含有層を変えた Ni アルミナイド表面層の作製と耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2012 年春期 (150 回), 横浜, 2012 年 3 月 28 日~30 日 (講演概要集 p. 309)
- 9) 阿部拓平, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久 : TiAl への Ni アルミナイド/TiAl₃ コーティングと耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2012 年春期 (150 回), 横浜, 2012 年 3 月 28 日~30 日 (講演概要集 p. 310)
- 10) 佐藤菜花, 藤 雅彦, 茨木 啓, 福本倫久, 原 基 : Nb-W 合金上への Ni アルミナイド/Ni₂ 層コーティングとその耐酸化性, 日本金属学会 2012 年秋期 (151 回), 松山, 2012 年 9 月 17 日~19 日 (講演概要集 p. 556)
- 11) 福本倫久, 力石 健, 原 基 : Hf を固溶させた Ni アルミナイド層の作製と耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2012 年秋期 (151 回), 松山, 2012 年 9 月 17 日~19 日 (講演概要集 p. 557)

- 12) 富樫亜希, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久: アルミナイド/Ni-Hf 合金 2 層コーティングの作製と耐サイク酸化性, 日本金属学会 2012 年秋期 (151 回), 松山, 2012 年 9 月 17 日~19 日 (講演概要集 p. 558)
- 13) 宮田知隼, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基: 熔融塩電析法による Ir-Pt-Al 合金コーティングと耐酸化性, 第 11 回日本金属学会東北支部研究発表会, 仙台, 2012 年 12 月 13 日 (講演予稿集 p. 21)
- 14) カーボンナノチューブ状へのポリマーの吸着と物理的相互作用の検討, 松本和也, 石井誠一, 寺境光俊, 第 22 回日本素材物性学会年会 (秋田)
- 15) ポリエーテルスルホンとカーボンナノチューブ間に働く物理的相互作用の検討, 松本和也, 石井誠一, 寺境光俊, 日本接着学会年次大会 (福島)
- 16) 剛直な大環状構造を主鎖に有する芳香族ポリエーテルの合成, 松本和也, 木全保弘, 寺境光俊, 第 61 回高分子討論会 (名古屋)
- 17) ポリ乳酸-ポリカプロラク톤マルチブロック共重合体の合成と医療分野への応用, 寺境光俊, 竹山佑樹, グエン ティー スエン, 松本和也, 2012 高分子学会東北支部研究発表会 (仙台)
- 18) Synthesis of Hyperbranched Poly(L-lactide)s by Self-Polycondensation of AB₂ Macromonomers and Their Structural Characterization by Light Scattering Measurements, M. Jikei, M. Suzuki, K. Itoh, K. Matsumoto, S. Kawaguchi, Polycondensation 2-12 (San Francisco, USA)
- 19) Synthesis and Properties of Poly(arylene ether)s Containing Macrocyclic Units in the Main Chain, K. Matsumoto, Y. Kimata, M. Jikei, The 9th SPSJ International Polymer Conference (神戸) Synthesis of Hyperbranched Poly(L-lactide)s by Self-Polycondensation of AB₂ Macromonomers, M. Jikei, M. Suzuki, K. Itoh, K. Matsumoto, Y. Saito, S. Kawaguchi, The 9th SPSJ International Polymer Conference (神戸)
- 20) 近赤外分光スペクトルを利用した小動物の体脂肪率測定に関する検討 (秋田大院工学資源・秋田大医)小川信明・松本貴弘・岡田恭司・藤原一彦 第 72 回分析化学討論会 (鹿児島大学)
- 21) ナノ粒子層作成法の精密制御による局在表面プラズモン共鳴センサの高感度化 (秋田大院工学資源)藤原一彦・土田仁史・小川信明) 第 72 回分析化学討論会 (鹿児島大学)
- 22) CALNN ペプチド修飾金ナノ粒子の細胞内導入と共焦点顕微解析(秋田大院工学資源)日登圭宣・藤原一彦・伊藤英晃・小川信明) 日本分析化学会第 61 年会 (金沢大学)
- 23) キレートを添加した炭酸ジルコニウムアンモニウム水溶液の EXAFS 分析(第一稀元素化学工業・秋田大院工学資源・立命大 SR セ)高崎史進・小川信明・藤原一

- 彦・渡辺巖・中島靖・西川拓) 日本分析化学会第 61 年会 (金沢大学)
- 24) 単一金ナノ粒子間のプラズモンカップリングを利用した GroEL/GroES 間相互作用の解析(秋田大院工学資源) 児玉高遠・藤原一彦・伊藤英晃・小川信明) 日本分析化学会第 61 年会 (金沢大学)
 - 25) タンパク質結合金ナノ粒子のゲル濾過クロマトグラフィーによる精製の検討(秋田大院工学資源) 〇岩崎史始・藤原一彦・小川信明) 日本分析化学会第 61 年会 (金沢大学)
 - 26) M. Bessho, T. Wajima, T. Ida, T. Nishiyama: Silica coating on weathered pyrite waste rock to prevent acid mine drainage., 7th International Conference “Interfaces Against Pollution”, pp.37, Nancy, FRANCE (2012. 6)
 - 27) 別所昌彦, 柴山敦: 地熱水に含まれる過飽和シリカの回収について, 平成 24 年度資源・素材学会秋季大会 (2012. 9)
 - 28) 増田信行, 緒方武幸, 別所昌彦, 石山大三, 古谷尚稔, 小寺拓也: 硫酸還元菌を利用した坑廃水処理試験カラム内の反応に関する観察と考察, 平成 24 年度資源・素材学会秋季大会 (2012. 9)
 - 29) M. Bessho, T. Wajima, T. Ida, T. Nishiyama: Silica coating on weathered pyrite waste rock to prevent acid mine drainage., 7th International Conference “Interfaces Against Pollution”, pp.37, Nancy, FRANCE (2012. 6)
 - 30) 別所昌彦, 柴山敦: 地熱水に含まれる過飽和シリカの回収について, 平成 24 年度資源・素材学会秋季大会 (2012. 9)
 - 31) 増田信行, 緒方武幸, 別所昌彦, 石山大三, 古谷尚稔, 小寺拓也: 硫酸還元菌を利用した坑廃水処理試験カラム内の反応に関する観察と考察, 平成 24 年度資源・素材学会秋季大会 (2012. 9)
 - 32) 別所昌彦, 芳賀一寿, 柴山敦: シリカ系材料を用いた水溶液中からのレアアース回収に関する基礎的検討, 日本化学会東北支部 化学系学協会東北大会 (2012. 9)
 - 33) K. Haga, M. Bessho, A. Shibayama: Recovery of REEs from Tamagawa Hot Spring Acid Water by Adsorption Process, International Symposium on Rare Earths 2012 in Okinawa for the 30th Anniversary of The Rare Earth Society of Japan (2012. 11)
 - 34) 吉岡恭佑, 柴山敦, 別所昌彦: 天然有機高分子による過飽和シリカの凝集沈殿, 第 47 回化学技術協会研究発表会 (2013. 3)
 - 35) 吉岡恭佑, 柴山敦, 別所昌彦: 水溶性タンパク質を用いた地熱水からのシリカ沈殿, 平成 24 年度資源・素材学会春季大会 (2013. 3)

- 36) T. Wajima: Synthesis of zeolitic material from green tuff stone cake, and its adsorption properties of silver(I) from aqueous solution, The 6th Pacific Basin Conference on Adsorption Science and Technology (PBAST-6), (2012)
- 37) T. Wajima, J. F. Rakovan: Removal behavior of phosphate from aqueous solution by calcined paper paper sludge, 7th International Conference on Interface Against Pollution (IAP2012) (2012)
- 38) M. Bessho, T. Wajima, T. Ida, T. Nishiyama: Silica coating on weathered pyrite waste rocks to prevent acid mine drainage”, 7th International Conference on Interface Against Pollution (IAP2012), (2012)
- 39) 和嶋隆昌、宗像健三： ハイドロキシソーダライトの塩化水素ガス除去能、日本素材物性学会平成 24 年度年会 (2012)
- 40) T. Wajima: Synthesis of zeolite-A from aluminium dross using alkali fusion method”, International Symposium on Zeolites and Micro Porous Crystal (ZMPC2012) (2012)
- 41) T. Wajima, J. F. Rakovan: Removal of fluoride ions using calcined paper sludge, 15th International Congress on Thermal Analysis and Calorimetry (ICTAC15) (2012)
- 42) T. Wajima, K. Munakata: Effect of alkali species on synthesis of K-F zeolitic materials from paper sludge ash for soil amendment, International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE22) (2012)
- 43) 和嶋隆昌： 碎石廃棄物を原料とした機能性材料の作成、平成 24 年度資源素材学会秋季大会 (2012)
- 44) T. Wajima: A novel adsorbent synthesized from blast furnace slag with phosphate sorption capacity, XXVI International Mineral Processing Congress (IMPC2012) (2012)
- 45) 和嶋隆昌：天然ゼオライトを用いた海水からの灌漑用水製造プロセスの開発、第 28 回日本イオン交換学会研究発表会 (2012)
- 46) 和嶋隆昌：硫黄を活用した製紙スラッジからの重金属吸着材作成法の開発、環境資源工学会第 129 回例会 (2012)
- 47) 和嶋隆昌： 碎石ケーキの利用による材料開発、平成 24 年度第 6 回碎石セミナー (2012)
- 48) 和嶋隆昌： 自然水中のリチウム資源量評価とその回収技術の開発、同位体の回収と分離に関する合同研究発表会 (2012)
- 49) T. Wajima: Conversion of waste paper sludge into heavy metal adsorbent using sulfur impregnation, 2013 International Conference on Materials Science

and Chemical Engineering (2013)

- 50) 石井莊平、和嶋隆昌、宗像健三：硫黄を活用したバイオマス廃棄物を原料とするニッケル吸着材の作成と評価、第15回化学工学会学生発表会 (2013)
- 51) 和嶋隆昌：硫黄と廃棄物を用いた重金属回収法の開発、廃棄物資源循環学会 東北支部秋田講演会 (2013)
- 52) T. Hasegawa, H. Kawato, T. Tomioka, S. Takahashi, Y. Kondo, H. Yamane, S. Nagamachi, A. Arakawa and S. Ishio, Nanoscale control of ferromagnetic-antiferromagnetic transition in FePtRh film using Fe and Pt ion implantations, IEEE International Magnetism Conference (INTERMAG 2012), Vancouver, Canada, May 7-11, 2012.
- 53) T. Hasegawa, H. Yamada, T. Tomioka, Y. Kondo, H. Yamane, S. Nagamachi, A. Arakawa, S. Ishio, Control of ferromagnetic-antiferromagnetic transition in $L1_0$ FePtRh film using Pt ion implantation, The 6th Joint European Magnetic Symposia (JEMS 2012), Parma, Italy, September 9-14, 2012.
- 54) T. Hasegawa, H. Yamada, T. Tomioka, Y. Kondo, H. Yamane, S. Nagamachi, A. Arakawa and S. Ishio, Ferromagnetic-antiferromagnetic patterning on $L1_0$ FePtRh film using Pt ion implantation, The 2nd International Conference of the Asian Union of Magnetism Societies (ICAUMS 2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 55) S. Ishio, S. Takahashi, T. Hasegawa, A. Arakawa, H. Sasaki, Z. Yan, X. Liu, Y. Kondo, H. Yamane, J. Ariake, Switching field distribution and magnetization reversal process of FePt dot patterns, The 2nd International Conference of the Asia (ICAUMS2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 56) X. Liu, S. Ishio, Magnetization Reversal Process in FeCo/Ru/FeCo Exchange Coupled Synthetic Antiferromagnetic Multilayers, The 2nd International Conference of the Asian Union of Magnetism Societies (ICAUMS 2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 57) T. Hasegawa, Y. Kondo, H. Yamane, A. Arakawa and S. Ishio, Nanoscale composition control in $L1_0$ FePtRh film for ferromagnetic-antiferromagnetic patterning, 12th Joint MMM-Intermag, Chicago, USA, January 14-18, 2013.
- 58) 石尾俊二, 高橋信吾, Z. Yan, 長谷川崇, 荒川明, 佐々木博美, 近藤祐治, 山根治起, 有明順, $L1_0$ FePt ナノドットアレイの磁化反転磁場分散とドット断面 TEM 観察, 日本金属学会 2012 年秋期講演大会 (第 151 回), 愛媛, 2012 年 9 月 17 日~19 日.
- 59) 荒川明, 石尾俊二, 長谷川崇, 特殊形状探針と FeCoB 合金を用いた高分解能を有する磁気力顕微鏡探針の研究開発, 日本金属学会 2012 年秋期講演大会 (第 151

- 回) , 愛媛, 2012年9月17日~19日.
- 60) 長谷川崇, 石尾俊二, フラット・パターンニング法を用いて作製した $L1_0\text{FePtRh}$ 強磁性 - 反強磁性パターンにおける原子拡散幅の評価, 電子情報通信学会, 磁気記録・情報ストレージ研究会, 秋田, 2012年10月18日~10月19日.
 - 61) 中村勇希, 近藤祐治, 山川清志, 有明順, 石尾俊二, レーザ加熱機構を有する局所磁気光学カー効果計測技術の開発, 電子情報通信学会, 磁気記録・情報ストレージ研究会, 秋田, 2012年10月18日~10月19日.
 - 62) 中村勇希, 近藤祐治, 山川清志, 有明順, 石尾俊二, レーザ加熱機構を有するマイクロ磁気光学カー効果計測装置の開発, 第60回応用物理学会春季学術講演会, 2013年3月27日~30日.
 - 63) 長谷川崇, 笠原諒亮, 山崎隆史, 山田紘己, 石尾俊二, $L1_0\text{FePt}$ 規則合金のFeサイトのMn置換による常磁性相と反強磁性相の発現, 日本金属学会2013年春季講演大会(第152回), 東京, 2013年3月27日~3月29日.
 - 64) 太陽光発電への投資と企業のスイッチングオプションの価値評価, 平成24年度資源・素材学会秋季大会(秋田), 501-502, 2012 (一般講演、国内会議)
 - 65) 金属の抗菌性とその微生物制御機能 第176回 腐食防食シンポジウム(東京)(主宰 腐食防食協会) 宮野泰征
 - 66) 村上賢治, 加藤貴宏, 菅原勝康: ゼオライト触媒によるバイオオイルモデル化合物の接触改質, 第49回石炭科学会議(釧路), p. 86-87 (2012)
 - 67) 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: 排煙脱硫石膏からの水銀化合物の分離, 第49回石炭科学会議(釧路), p. 118-119 (2012)
 - 68) 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: 塩化還元揮発法による電子基板からの貴金属及びレアメタル分離回収, 化学工学会第44回秋季大会(仙台), Q121 (2012)
 - 69) 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: 細孔開閉機能を有するイオン交換体の開発, 化学工学会第44回秋季大会(仙台), F202 (2012)
 - 70) 村上賢治, 菅原勝康, 川口尊三: 種々の炭材の燃焼速度解析, 日本鉄鋼協会第164回秋季講演大会(愛媛), p. 615-618 (2012)
 - 71) 村上賢治: 新規温度応答性吸着剤の開発, 平成24年化学系学協会東北大会(秋田)依頼講演, p. 85 (2012)
 - 72) 井部早苗, 岡崎和之, 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: 塩化アンモニウムを用いた窒化アルミニウムの低温合成, 平成24年化学系学協会東北大会(秋田), 2P102 (2012)
 - 73) 板倉尚道, 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: BaTiO_3 ナノ粒子の低温合成, 平成24年化学系学協会東北大会(秋田), 2P100 (2012)
 - 74) 角間崎純一, 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: 塩化揮発法による下水汚泥由来焼却灰からのAuの選択的分離回収, 平成24年化学系学協会東北大会(秋田),

- 1P100 (2012)
- 75) 木村瑠璃子, 村上賢治, 加藤貴宏, 菅原勝康: 感温性ゲートを有するメソポーラスシリカの合成と分離膜への応用, 平成24年化学系学協会東北大会 (秋田), 2P104 (2012)
- 76) 村上賢治, 加藤貴宏, 菅原勝康: スギの低温触媒ガス化による水素製造, 第21回日本エネルギー学会大会講演要旨集 (東京), p. 74 (2012)
- 77) 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: カーボクロリネーションを利用した有価元素の分離回収, 第21回日本エネルギー学会大会講演要旨集 (東京), p. 330 (2012)
- 78) 村上賢治, 加藤貴宏, 菅原勝康: 固体炭素燃料の燃焼速度解析, 粉体工学会第48回夏期シンポジウム講演論文集 (京都), p. 27 (2012)
- 79) 加藤貴宏, 菅原勝康: 塩化揮発による使用済み研磨剤からのセリウムの分離回収, 化学工学会第77年会 (東京), p. 645 (2012)
- 80) Katsuyasu Sugawara, Takahiro Kato, Kenji Murakami, Takuo Sugawara, Hitoshi Funayama: Photo-oxidation of VOCs with hydrogen peroxide, 19th Regional Symposium on Chemical Engineering (RSCE2012, Bali, Indonesia), E-02 (2012)
- 81) Kenji Murakami, Takahiro Kato, Katsuyasu Sugawara: Hydrogen production in steam gasification of Japanese cedar below 500 °C, 19th Regional Symposium on Chemical Engineering (RSCE2012, Bali, Indonesia), A-39 (2012)
- 82) Takahiro Kato, Katsuyasu Sugawara, Yukio Enda: Elution Control of Toxic Ions from Ashes, 29th International Pittsburgh Coal Conference (Pittsburgh, U. S. A.) (2012)
- 83) Katsuyasu Sugawara, Yuuki Mochizuki, Takahiro Kato, Yukio Enda: Release Behavior of Boron During Heat Treatments of Coals, 29th International Pittsburgh Coal Conference (Pittsburgh, U. S. A.) (2012)
- 84) Kenji Murakami, Xue Yu, Takahiro Kato, Yukihiko Inoue, Katsuyasu Sugawara: Synthesis of temperature-responsive adsorbent by click reaction, 20th International Congress of Chemical and Process Engineering (CHISA 2012, Prague), P3-113 (2012)
- 85) Takahiro Kato, Kenji Murakami, Katsuyasu Sugawara: Carbon reduction of gypsum produced from flue gas desulfurization, 15th Conference on Process Integration, Modeling and Optimisation for Energy Saving and Pollution Reduction (PRES 2012, Prague), P5.162 (2012)
- 86) 辻内 裕 “紫外可視光変換材料の開発と用途展開の最前線” 情報機構セミナー, 2012年6月18日, 東京
- 87) Takahiko Sano, Takaaki Ichikawa, Hiramitsu Yuki, Hiroshi Masumoto, Takashi

- Goto, Yutaka Tsujiuchi , “Film thickness and property of ion conductive rectification element using amino acids, gel and hydrogenated amorphous silicon” , The 50th Annual Meetings of The Biophysical Society of Japan, Nagoya, September 24, 2012.
- 88) Yuta Ando, Ryohei Matsueda, Masahiro Terashita, Yutaka Tsujiuchi “Two dimensional ammonia sensing by measurement of mass and fluorescence using 7-hydroxy-4-methylcoumarin film and fatty acid” , The 50th Annual Meetings of The Biophysical Society of Japan, Nagoya, September 23, 2012.
- 89) 辻内 裕 “紫外可視光変換感応制御式バイオセンサー” イノベーション・ジャパン 2012 - 大学見本市, 2012年9月27日28日, 東京
- 90) Yutaka Tsujiuchi, Yuta Ando, Takahiko Sano, Hiroshi Masumoto, Takashi Goto, “An Ammonia Sensing Method by Measurement of Voltametric Current and Fluorescence of Chemical Product from Prolin in the Gel” , The 10th International Conference on Nano-Molecular Electronics, Hyogo, December 16, 2012.
- 91) Pine Pollen Sensing Using Fatty Acid and 7-hydroxy-4-methylcoumarin on Hydrogenated Amorphous Silicon Film on QCM Sensor, Yutaka Tsujiuchi, Hiroki Suzuki, Ryohei Matsueda, Yuta Ando, Hiroshi Masumoto, Takashi Goto, The 7th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics, Fukuoka, March 19, 2013.
- 92) 高橋 護, 渡辺功輔, 神谷 修, 燃焼炎によるWC基板表面へ合成されたナノ結晶ダイヤモンド皮膜の接合強度評価, 日本機械学会東北支部第48期秋期講演会講演論文集, pp. 168-169, (2012年, 9月 八戸高専)
- 93) 高橋 護, 神谷 修, 三島 望, 切削工具用WC表面への省エネルギー型燃焼炎法によるダイヤモンド皮膜合成, エコデザイン 2012 ジャパンシンポジウム予稿集 (CD-ROM), (2012年, 12月 東京)
- 94) 市川 陽, 秋元健吾, 伊藤風太, 高橋 護, 神谷 修, 燃焼炎によるWC基板表面へのダイヤモンド皮膜合成に及ぼす諸影響について, 日本機械学会東北学生会第43回卒業研究発表講演会論文集, pp. 63-64, (2013年, 3月 一関高専)
- 95) 中島 春介, 高橋 弘樹, 田口 正美, 平成24年度日本素材物性学会 (2012年6月26日, 秋田) (一般講演, 国内会議) .
- 96) 阿部 賢, 高橋 弘樹, 田口 正美, 平成24年度日本素材物性学会 (2012年6月26日, 秋田) (一般講演, 国内会議) .
- 97) 永井 雅也, 高橋 弘樹, 田口 正美, 平成24年度日本素材物性学会 (2012年6月26日, 秋田) (一般講演, 国内会議) .
- 98) 田口 正美, 高橋 弘樹, 永井 雅也, 愛知 太郎, 佐藤 理恵, 資源・素材

- 2012 (平成 24 年 9 月 11-13 日, 秋田) (一般講演, 国内会議) .
- 99) 中島 春介, 高橋 弘樹, 田口 正美, 日本金属学会 2012 年度秋期大会 (2012 年 9 月 17-19 日, 松山) (一般講演, 国内会議) .
- 100) 阿部 賢, 高橋 弘樹, 田口 正美, 日本金属学会 2012 年度秋期大会 (2012 年 9 月 17-19 日, 松山) (一般講演, 国内会議) .
- 101) Fumio Hamada, “A highly Sensitive Probe Detecting Biomolecule and Organelle Based on Fluorescent Modified Cyclodextrins”, BIT’ s 1th Annual Conference and EXPO of Analytix-2012 (Beijing, China, 3. 22-26, 2012) p 201
- 102) Fumio Hamada, Manabu Yamada, Yoshihiko Kondo, “Supramolecular architecture formation and their functionalities based on thiacalixarene system”, 2012 Collaborative Conference on Crystal Growth (Doubletree by Hilton Orlando at SeaWorld, USA, 12. 11-14, 2012) p215.
- 103) Fumio Hamada, Yoshihiko Kondo and Manabu Yamada, “Metal extraction capability based on hybrid polymer consisted of β -cyclodextrin and diatomite”, The 15th International Cyclodextrins Symposium (Beijing, China, 5. 6-5. 11, 2012)
- 104) 濱田文男、近藤良彦、山田学 「アルキル基修飾シクロデキストリンポリマーの合成とその性質」 第 9 回ホスト・ゲストシンポジウム (2012. 5. 26-27、北海道大学)
- 105) 近藤良彦、山田学、濱田文男 「チアカリックス[n]アレーン誘導体のレアメタル抽出能」
- 106) 第 9 回ホスト・ゲストシンポジウム (2012. 5. 26-27、北海道大学)
- 107) 山田学、太田代雄司、濱田文男 「ハロゲン-ハロゲン相互作用によるチアカリックス[n]アレーンのヘキサメリック集合体の構造解析」 第 9 回ホスト・ゲストシンポジウム (2012. 5. 26-27、北海道大学)
- 108) 近藤良彦、山田学、濱田文男 「シクロデキストリン-珪藻土複合重合体の合成と金属抽出能」 日本素材物性学会平成 24 年度年会 (2012. 6. 26、秋田ビューホテル)
- 109) 濱田文男、ウルジ ムンフトヤ、近藤良彦、山田学、高木思野 「アルキル基修飾シクロデキストリンポリマーのガス吸着能」 第 29 回シクロデキストリンシンポジウム (2012. 9. 6-7、星薬科大学)
- 110) 松田智紗、高木思野、ウルジ ムンフトヤ、近藤良彦、山田学、濱田文男 「鎖長の異なるアルキル基修飾シクロデキストリンポリマーのガス吸着能」 第 29 回シクロデキストリンシンポジウム (2012. 9. 6-7、星薬科大学)
- 111) The 6th Korea-Japan Chemical Biology Symposium. January, Sapporo
(1) Koizumi Y, Nagai K, Hasumi K, Koyota S, Sugiyama T (2012) Synthesis

and Biological Evaluation of Malformin Derivatives as a Fibrinolysis Enhancer

- 112) Annual Meeting of the American Association for Dental Research, March , Florida
(1) Yoshioka H, Yoshiko Y, Irie Y, Minamizaki T, Kato Y, Sugiyama T, Maeda N (2012) Phosphatase regulates fibromodulin expression through the ERK Pathway in ameloblasts
- 113) 第 25 回日本動物細胞工学会 2012 年度国際大会 (JAACT2012) , 11 月, 名古屋
(1) Saheki T, Sayama M, Ozaki T, Tomita S, Sugiyama T, Kojima I (2012) Analysis of histone H3 acetylation in rat hepatic stem-like cells during multiple nucleation
- 114) 日本生化学会東北支部 第 78 回例会・シンポジウム, 5 月, 山形
(1) 小野洋輝, 後藤 猛, 熊谷(芳澤)久美子, 杉山俊博, 高橋砂織 (2012) レニン・アンギオテンシン系関連酵素の新規活性測定法法について
- 115) 日本素材物性学会平成 24 年度 (第 22 回) 年会, 6 月, 秋田市
(1) 杉山俊博 (2012) 再生医療における足場としてのスカフォードの役割 (特別講演)
- 116) 日本ケミカルバイオロジー学会 第 7 回年会, 6 月, 京都
(1) 小泉幸央, 長井賢一郎, 蓮見恵司, 小代田宗一, 杉山俊博 (2012) フィブリン分解を促進する環状ペプチドマルホルミンの構造活性相関
- 117) 日本睡眠学会第 37 回定期学術総会 2012, 6 月, 横浜市
(1) 上村佐知子, 若狭正彦, 齊藤 明, 伊東若子, 畠 巖, 吉田政樹, 越前屋勝, 神林 崇, 清水徹男, 杉山俊博 (2012)簡易脳波、深部体温と遠位・近位皮膚温から見た温泉浴と人工炭酸泉浴の睡眠への効果
- 118) 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 9 月, 秋田市
(1) 小泉幸央 (2012) 糸状菌由来の環状ペプチドによるフィブリン分解促進作用
- 119) 日本機械学会 2012 年度年次大会, 9 月, 金沢
(1) 二井理久郎, 長谷川裕晃, 杉山俊博 (2012) マイクロバブル人工泉の医療への応用
- 120) 第 85 回日本生化学会大会, 12 月, 福岡
(1) 小代田宗一, 馬 莉, 谷田部直樹, 小泉幸央, 杉山俊博 (2012) 細胞内発現 scFv 抗体によるポリペプチド GalNAc 転移酵素の細胞内局在の制御
- 121) 日本農芸化学会 2013 年度大会, 3 月, 仙台
(1) 杉山俊博, 王 静舒, 小代田宗一 (2013) 肝がん幹細胞の特性と発現制御による肝がん克服の基礎研究 (シンポジウム)

- (2) 小泉幸央, 長井賢一郎, 高立娜, 蓮見恵司, 小代田宗一, 杉山俊博 (2013) 膜基板型抗体マクロアレイを用いたマルホルミン A₁ の作用機序解析へのアプローチ
- (3) 喬志偉, 小泉幸央, 張沐新, 夏井美幸, Maria Jolina Flores, 高立娜, 小代田宗一, 杉山俊博 (2013) カキドオシエキスによるマウス B16F10 メラノーマ細胞のメラニン生成に対する抑制作用
- 122) 齊藤知直, 大川浩一, タイフーン ババダグリ, 石油技術協会春季講演会, 「高周波数および低周波数超音波を用いたオイルサンドからのビチューメン分離効果」
- 123) 大川浩一, 西健太郎: 資源・素材学会秋季大会 2012 「超音波霧化を用いた粉塵の飛散抑制」
- 124) 齊藤知直, 大川浩一, 川村洋平, Tayfun Babadagli: 資源・素材学会秋季大会 2012 「オイルサンドからのビチューメン分離回収における超音波利用の検討」
- 125) 河合直介, 大川浩一: 第 21 回ソノケミストリー討論会 「超音波霧化を用いた湿度調整」
- 126) 半杭慎二, 大川浩一: 第 21 回ソノケミストリー討論会 「鉄酸化物と超音波酸化を用いたヒ素の吸着除去」
- 127) 北村優弥, 大川浩一: 第 21 回ソノケミストリー討論会 「スコロダイト生成過程における超音波の利用」
- 128) 齊藤知直, 大川浩一, Tayfun Babadagli: 第 21 回ソノケミストリー討論会 「オイルサンドからのビチューメンの超音波照射分離における混合ガス導入の検討」
- 129) 齊藤知直, 大川浩一, 川村洋平, Tayfun Babadagli: 第 33 回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム 「超音波照射と混合ガスを用いたオイルサンドからのビチューメンの浮上分離」
- 130) 齊藤知直, 大川浩一, 川村洋平, Tayfun Babadagli: 資源素材学会春季大会 「超音波照射と炭酸ガスを用いたオイルサンドからのビチューメン浮上分離」
- 131) 吉村 哲、安居 慎也、江川 元太、木下 幸則、齊藤 準: 「周波数変調型磁気力顕微鏡を用いた磁気記録ヘッドの交流磁場観察: 円錐形状 FePt 系高保磁力探針による像歪みの抑制」, 磁気記録・情報ストレージ研究会, 秋田県産業技術センター, 2012 年 10 月 18 日~19 日.
- 132) 菅原 祐輔、吉村 哲、齊藤 準: 「スパッタリング法による BiFeO₃ 系マルチフェロイック薄膜の高品位作製とその磁気特性および誘電特性」, 平成 24 年度スピニクス特別研究会, 秋田大学, 2012 年 11 月 26 日~27 日.
- 133) 岡安 慎介, 伊藤 亮一, 江川 元太, 吉村 哲, 齊藤 準: 「高飽和磁化 Fe-Co 探針を用いた近接場磁気力顕微鏡における静磁場イメージングの高分解能化」, 平

成 24 年度スピニクス特別研究会, 秋田大学, 2012 年 11 月 26 日~27 日.

- 134) 李 正华, 畠山 広大, 江川 元太, 吉村 哲, 齊藤 準:「周波数変調型磁気力顕微鏡(FM-MFM)を用いた垂直磁気記録ヘッドの交流磁場ストロボ計測」, 平成 24 年度スピニクス特別研究会, 秋田大学, 2012 年 11 月 26 日~27 日.
- 135) 菅原 祐輔, 吉村 哲, 齊藤 準:「(111)配向 BiFeO₃ 系マルチフェロイック薄膜の低温形成—スパッタリング成膜中における VHF プラズマ照射の効果—」, 第 60 回応用物理学会春季学術講演会, 神奈川工科大学, 2013 年 3 月 27 日~30 日.
- 136) 齊藤 準, 安居 慎也, 江川 元太, 吉村 哲, 木下 幸則:「交番磁気力顕微鏡を用いた交流磁場のストロボ磁場イメージング」, 第 60 回応用物理学会春季学術講演会, 神奈川工科大学, 2013 年 3 月 27 日~30 日.
- 137) 齊藤 準, 「ベクトル磁場検出・近接場磁気力顕微鏡の開発とその磁性材料・磁気デバイスへの応用」, 日本磁気学会第 186 研究会, 中央大学, 2012 年 11 月 2 日.
- 138) 齊藤 準, 「交番磁気力顕微鏡の開発: 直流磁場および交流磁場の試料表面での高分解能・ベクトル磁場イメージング」, 平成 24 年度スピニクス特別研究会, 秋田大学, 2012 年 11 月 26 日~27 日.
- 139) 吉村 哲, 安居 慎也, 江川 元太, 齊藤 準, 「強磁場収束型磁気記録ヘッドの交流磁場観察に適する円錐形状・高保磁力 FePt 系磁気力顕微鏡探針の開発」, 平成 24 年度スピニクス特別研究会, 秋田大学, 2012 年 11 月 26 日~27 日.
- 140) 齊藤 準, 「ベクトル磁場検出・高分解能・近接場磁気力顕微鏡の開発とその高密度磁気記録デバイスへの応用」, ナノプローブテクノロジー第 167 委員会, 第 69 回研究会, 東京大学生産技術研究所, 2013 年 1 月 10 日.
- 141) H. Saito, Z. Li, R. Ito, G. Egawa, and S. Yoshimura, “High resolution magnetic field imaging by Near-field magnetic force microscopy (NF-MFM) for high-density magnetic recording media”, INTERMAG 2012, Vancouver, Canada, May 7-11, 2012.
- 142) S. Yoshimura, G. Egawa, K. Hatakeyama, and H. Saito, “AC magnetic field imaging without image distortion for current perpendicular magnetic writing head by using frequency-modulated magnetic force microscopy (FM-MFM) with cone shaped FePt tip”, INTERMAG 2012, Vancouver, Canada, May 7-11, 2012.
- 143) Y. Kinoshita, K. Hatakeyama, G. Egawa, S. Yoshimura, and H. Saito, “Alternating magnetic field spectroscopy: Fourier imaging of AC magnetic field for magnetic writing head”, The International Conference of the Asian Union of Magnetics Societies (ICAUMS 2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.

- 144) Z. Li, K. Hatakeyama, G. Egawa, S. Yoshimura, and H. Saito, “Stroboscopic imaging of AC magnetic field for a perpendicular magnetic writing head by using frequency-modulated magnetic force microscopy (FM-MFM)”, The International Conference of the Asian Union of Magnetism Societies (ICAUMS 2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 145) S. Okayasu, R. Ito, G. Egawa, Y. Kinoshita, S. Yoshimura, and H. Saito, “Improvement of spatial resolution by Fe-Co tip with high saturation magnetization for Near-field magnetic force microscopy (NF-MFM)”, The International Conference of the Asian Union of Magnetism Societies (ICAUMS 2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 146) S. Yasui, K. Kamachi, G. Egawa, S. Yoshimura, and H. Saito, “High AC magnetic field imaging for a perpendicular magnetic writing head: Fabrication of high-coercivity FePt-MgO tip for frequency-modulated magnetic force microscopy (FM-MFM)”, The International Conference of the Asian Union of Magnetism Societies (ICAUMS 2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 147) H. Saito, X. Li, Y. Kinoshita, G. Egawa, S. Yoshimura, G. Li, W. Lu, and B. Yan, “AC magnetic field assisted alternating magnetic force microscopy: Imaging of magnetic field response of soft magnetic Fe₃O₄ nano particles”, 12th Joint MMM/Intermag Conference, Chicago, USA, January 14-18, 2013.
- 148) H. Saito, “Development of alternating magnetic force microscopy for detecting vector magnetic field near sample surface with high spatial resolution”, The International Conference of Asian Union Magnetism Society (ICAUMS2012), Nara, Japan, October 2-5, 2012.
- 149) “第四級アンモニウム含有有機無機複合体の塩基触媒としての評価”, 小笠原正剛, 菅原健大, 齋藤和也, 加藤純雄, 中田真一, 石油学会第 55 回年会 (第 61 回研究発表会), 講演要旨, A03, p. 43, 東京, 2012 年 5 月 25 日.
- 150) “米ぬか活性炭を用いた固体塩基触媒の調製”, 小笠原正剛, 小田知美, 加藤純雄, 中田真一, 第 22 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, A-3, pp. 5-6, 秋田, 2012 年 6 月 26 日.
- 151) “Nb 含有メソ多孔体のオレフィンのエポキシ化触媒としての評価”, 小笠原正剛, 小田知美, 加藤純雄, 中田真一, 第 22 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, A-4, pp. 7-8, 秋田, 2012 年 6 月 26 日.
- 152) “Ogasawara, M., Ono, A., Amamoto, Y., Kato, S., Nakata, S.: Synthesis of Mesoporous Materials from Layered Perovskite type K_2NbO_3F and Alkylamine, International Symposium on Zeolites and Microporous Crystals,

P-222, Hiroshima, Japan, July 28-Aug. 1, 2012.

- 153) “アルカリ金属含有アパタイト型ケイ酸ランタン担持 Pt 触媒の調製と NO 還元特性”, 小野富雅, 足立夕時, 加藤純雄, 小笠原正剛, 中田真一, 中原祐之輔, 第 22 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, A-5, pp. 9-10, 秋田, 2012 年 6 月 26 日.
- 154) “固体 NMR による多孔質素材の評価 - ゼオライトのサイト解析と触媒反応活性点の解析”, 中田真一, 加藤純雄, 小笠原正剛, 第 22 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, A-6, pp. 11-12, 秋田, 2012 年 6 月 26 日.
- 155) “La-Si-O 系コロイド溶液の水熱処理によるアパタイト型ケイ酸塩の合成”, 加藤純雄, 小野富雅, 小笠原正剛, 中田真一, 日本セラミックス協会第 25 回秋季シンポジウム, 2J04, 名古屋, 2012 年 9 月 19~21 日.
- 156) “パイロクロア型 $\text{Ln}_2\text{Sn}_2\text{O}_7$ (Ln=Nd, Y) 担持貴金属触媒の調製と NO 還元特性”, 加藤純雄・本橋輝親・小笠原正剛・中田真一, 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 1P006, 秋田, 2012 年 9 月 15~16 日.
- 157) “Cu-Mn 系デラフォサイト型酸化物の合成と酸素吸蔵特性”, 川島龍之介・加藤純雄・小笠原正剛・中田真一, 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 1P007, 秋田, 2012 年 9 月 15~16 日.
- 158) “アパタイト型ケイ酸塩担持 Pt 触媒の調製と C_3H_6 燃焼触媒活性”, 小野富雅, 加藤純雄, 小笠原正剛, 中田真一, 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 1P008, 秋田, 2012 年 9 月 15~16 日.
- 159) “北秋田産珪藻土の冷感機能材料としての基礎的評価”, 高村智美, 富樫純也, 小笠原正剛, 野村正幸, 加藤純雄, 中田真一, 鈴木和浩, 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 1P129, 秋田, 2012 年 9 月 15~16 日.
- 160) “ HLaNb_2O_7 -第四級アンモニウムイオン複合体の合成およびその酸塩基特性”, 齋藤和也, 小笠原正剛, 加藤純雄, 中田真一, 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 1P145, 秋田, 2012 年 9 月 15~16 日.
- 161) “Si-Nb 酸化物の液相におけるオレフィン酸化触媒としての評価”, 新井裕輝, 小笠原正剛, 小田知美, 加藤純雄, 中田真一, 平成 24 年度化学系学協会東北大会, 2P129, 秋田, 2012 年 9 月 15~16 日.
- 162) “第四級ホスホニウム塩を用いた有機複合体の合成および塩基触媒活性”, 小笠原正剛, 齋藤和也, 千田凌, 加藤純雄, 中田真一, 第 110 回触媒討論会, 2E14, 福岡, 2012 年 9 月 24~26 日.
- 163) “アパタイト型 $\text{ALa}_9\text{Si}_6\text{O}_{26}$ 担持 Pt 触媒 (A=Li, Na, K) の NO 還元および C_3H_6 酸化特性”, 小野富雅, 加藤純雄, 小笠原正剛, 若林誉, 中原祐之輔, 中田真一, 石油学会第 42 回石油・石油化学討論会, 講演要旨集, 2A07, p. 45, 秋田, 2012 年 10 月 11~12 日.

- 164) “H 型層状ペロブスカイト型酸化物を用いた有機無機複合体の合成およびその酸塩基特性”，齋藤和也，小笠原正剛，加藤純雄，中田真一，石油学会第 42 回石油・石油化学討論会，講演要旨集，2E04，p. 242，秋田，2012 年 10 月 11～12 日.
- 165) “TEOS と Nb 系コロイド溶液から得られた Si-Nb 複合酸化物の液相酸化触媒としての評価”，新井裕輝，小笠原正剛，小田知美，加藤純雄，中田真一，石油学会第 42 回石油・石油化学討論会，講演要旨集，P13，p. 281，秋田，2012 年 10 月 11～12 日.
- 166) “石油にまつわる話ー石油の歴史とこれからの石油エネルギーー”，中田真一，第 28 回大学等環境安全協議会技術分科会特別講演会，2012 年 10 月 26 日.
- 167) “MCM-41 とホスホニウム塩を出発原料とした有機無機複合体の調製と Knoevenagel 反応による塩基触媒活性評価”，千田 凌，小笠原正剛，齋藤和也，加藤純雄，中田真一，平成 24 年度日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会，講演要旨集，P02，p. 48，盛岡，2012 年 11 月 8～9 日.
- 168) “Cu-Cr 系デラフォサイト型酸化物の合成と酸素吸蔵特性”，川島龍之介，加藤純雄，小笠原正剛，中田真一，平成 24 年度日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会，講演要旨集，2P20，p. 66，盛岡，2012 年 11 月 8～9 日.
- 169) “第四級ホスホニウム塩を用いた有機無機複合体の調製”，小笠原正剛，齋藤和也，千田凌，加藤純雄，中田真一，第 28 回ゼオライト研究発表会，講演予稿集，B24，p. 60，東京，2012 年 11 月 28～29 日.
- 170) “アパタイト型ケイ酸塩担持 Pt 触媒の NO 還元特性に対するアルカリ金属導入の影響”，加藤純雄，小野富雅，小笠原正剛，中田真一，第 51 回セラミックス基礎科学討論会，講演要旨集，1H05，p. 144，仙台，2013 年 1 月 9～10 日
- 171) “アパタイト型リン酸塩担持 Pt 触媒の NO 還元特性”，加藤 純雄，小野 富雅，小笠原 正剛，中田 真一，日本セラミックス協会 2013 年年会，2G07，東京，2013 年 3 月 17～19 日
- 172) 石山大三 (2012)：地球のめぐみ温泉の科学，第 77 回日本温泉気候物理医学会 学術集会抄録集，P-30. (第 77 回日本温泉気候物理医学会 教育講演) (国内，2012 年 6 月 8 日)
- 173) 石山大三 (2012)：地球化学的検討による鉱物資源評価と環境影響評価の試み. 平成 24 年度化学系学協会東北大会講演予稿集，P-56. (化学系学協会東北大会 (秋田) (依頼講演，2012 年 9 月 16 日)
- 174) Adomako-Ansah, K., Mizuta, T., Hammond, N. Q., Ishiyama, D. and Matsubaya, O. (2012): C-O isotopic signature of carbonates from the Blue Dot gold deposit, Amalia Greenstone belt, South Africa, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集，0-18. (国内)
- 175) Zhang, J., Ishiyama, D., Mizuta, T. and Allen, R. (2012): Mineralogical

and geochemical characteristics of Precambrian Boliden Au-bearing massive sulfide deposit, Skellefte district, Sweden, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, 0-19. (国内)

- 176) 中野孝教・石山大三(2012): 多項目水質マップ作成による資源地質型環境研究体制の提案, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, 0-35. (国内)
- 177) 松本 晃・米田哲朗・佐藤 努・石山大三・高橋亮平・松葉谷治 (2012): 菱刈鉬山から産するスメクタイトの鉬物学的特性と安定同位体組成, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-05. (国内)
- 178) Ishiyama, D., Kawaraya, H., Sato, H., Obradovic, L., Blagojevic, B., Petrovic, J. and Gardic, V. (2012): Chemical characteristics of mine drainage water and river water in the Bor mining area, Serbia, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-07. (国内)
- 179) Pham, P. N., Ishiyama, D., Tran, T. A. and Sugawara, T. (2012): Geological and geochemistry characteristics of the Na Son REE-bearing and the Cho Don, Cho Dien In-bearing lead-zinc deposits, northeast Vietnam, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-08. (国内)
- 180) Tangwattananukul, L., Ishiyama, D., Charusiri, P., Sera, K. and Sato, H. (2012): Formation environment of gold mineralization in the Chatree mining area, central Thailand, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-11. (国内)
- 181) 石山大三・川原谷浩・佐藤祐美・佐藤比奈子・張 建東・Pham Noc Can・中野孝教・宮川千絵・丸山誠史 (2012): 秋田県の河川水の化学組成の特徴ー多項目水質マップ作成による資源地質型環境研究体制の提案における研究例ー, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-35. (国内)
- 182) 川原谷浩・石山大三・世良耕一郎・遠田幸生 (2012): 秋田県八郎潟干拓地の高濃度リン湧出水と周辺河川水の溶存成分, 懸濁成分の特徴, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-36. (国内)
- 183) 佐藤比奈子・石山大三・柴山 敦 (2012): 秋田県の温泉水の主成分・微量成分元素の地球化学的特徴, 資源地質学会第 62 回年会講演会講演要旨集, P-37. (国内)
- 184) 石山大三 (2013) 秋田県の河川水の化学組成の特徴. 第 2 回同位体環境学シンポジウム要旨集, p-12, (総合地球環境学研究所). (国内)
- 185) K. Haga, W. Tongamp, A. Shibayama: Separation of Enargite from Cu-Concentrate, XXVI International Mineral Processing Congress (IMPC2012, New Delhi, India), Proceedings of IMPC2012, (1871-81)
- 186) A Shibayama, W. Tongamp, K. Haga: Selective Arsenic and Antimony Removal

by Alkaline Leaching and Precipitation From Enargite and Tennantite/
Tetrahedrite Ore, XXVI International Mineral Processing Congress (IMPC2012,
New Delhi, India), Proceedings of IMPC2012, (4972-84).

- 187) W. Kopal, W. Tongamp, G. Arpa, A. Shibayama: Extraction of Nickel and Cobalt from Ramu Laterite Ore - Papua New Guinea, XXVI International Mineral Processing Congress (IMPC2012, New Delhi, India), Proceedings of IMPC2012, (2468-77).
- 188) 芳賀 一寿, 鎌田 玲佳, 柴山 敦, 別所 昌彦: 沈殿法と吸着法を利用した強酸性温泉水からのレアアース回収, 第 46 回秋田県化学技術協会研究技術発表会ならびに特別講演会 p. 02 (2012)
- 189) 小武 希, 細井 明, 高崎 康志, 柴山 敦: 廃電子基板等からの金属回収を目的とした浸出条件の検討, 第 46 回秋田県化学技術協会研究技術発表会ならびに特別講演会 p. 03 (2012)
- 190) 芳賀 一寿, William Tongamp, 柴山 敦: Enargite 浮選における各種浮選剤の影響, 資源・素材学会 2012 春季大会 (東京) 講演要旨集 p. 224-225 (2012)
- 191) 小武 希, 細井 明, 高崎 康志, 柴山 敦: 廃電子基板からの金属回収を目的とした湿式プロセスの検討, 資源・素材学会 2012 春季大会 (東京) 講演要旨集 p. 393-394 (2012)
- 192) 渡辺 勝央, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 塩化揮発法を利用した廃電子基板からの金属回収, 資源・素材学会 2012 春季大会 (東京) 講演要旨集 p. 395-396 (2012)
- 193) 渡辺 勝央, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 廃電子基板に含まれる有用金属の回収を目的とした塩化揮発挙動の解明, 日本素材物性学会平成 24 年度 (第 22 回) 年会 (秋田) 講演要旨集 p. 29-30 (2012)
- 194) 渡辺 勝央, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 塩化揮発と湿式処理を組み合わせた廃電子基板からの金属回収, 資源・素材学会 2012 秋季大会 (秋田) 企画発表・一般発表(A) (B) (C) 講演資料 p. 459-460 (2012)
- 195) 佐々木 裕, 高崎 康志, 柴山 敦, 愛知 太郎, 佐藤 理恵: 亜鉛電解採取用 Pb 合金アノードの酸化物被膜の形態および形状がアノード電位に及ぼす影響, 資源・素材学会 2012 秋季大会 (秋田) 企画発表・一般発表(A) (B) (C) 講演資料 p. 321-322 (2012)
- 196) 芳賀 一寿, 池田 春美, William Tongamp, 柴山 敦: コレクターレス浮選における Enargite の浮遊挙動, 資源・素材学会 2012 秋季大会 (秋田) 企画発表・一般発表(A) (B) (C) 講演資料 p. 507-508 (2012)
- 197) 渡辺 勝央, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 廃電子基板中の有用金属の回収を目的とした塩化揮発挙動の調査, 第 23 回廃棄物資源循環学会研究発表会

(仙台) 講演論文集 p. 209-210 (2012)